【10月号】

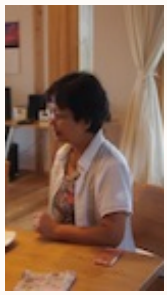
手のひら通信

2013年　9月20日発

No.15

お問い合わせ
手のひらに太陽の家
宮城県登米市登米町寺池辺室山17番地1
0220-23-9755(Tel)
0220-23-9756(Fax)
info@taiyounoie.org
http://taiyounoie.org/

ある時は農学博士、ある時は栄養士、またある時はお花の先生…と驚く程多才な竹井真澄先生が今月もスタッフ研修にいらしてくださいました！



今回も研修内容は盛り沢山。栄養講座から押し花教室と非常に多岐に渡り、それぞれがとても興味深い内容でした。特に今回は手のひらに太陽の家を少しでも長く続けるための運営資金を、自分達で調達するためのヒント、技術、情報に重点を当てて研修して下さいました。竹井先生の無欲の献身ぶりには本当に頭が下がります。そしてその情報量にも…。竹井先生、本当にありがとうございました。

（文：佐藤）

定期的に開催しているお料理教室。今回は「暑い夏を乗り切る！」をテーマにベトナム料理に挑戦です。教えて下さったのは、おなじみになっている管理栄養士の遠藤美香さん。料理はベトナムの米粉麺を使った野菜たっぷりのフォーに、トマトと練乳のジュース。初めてのベトナム料理に最初はとまどっていた子ども達。でも、一口食べれば、ぺろりと平らげてしまいました。この料理のおかげで、子ども達も無事、暑い夏を乗り切れたようです。遠藤美香さん、本当にありがとうございました。

（文：菅邊）

手のひらに太陽の家のある登米町。その登米町で九月十四日、十五日に秋祭りが行われました。三百年以上続く歴史あるお祭りです。手のひらに太陽の家の周りにも山車が回って来たり、花火の音が聞こえたりと町中にお祭りの雰囲気が漂っていました。

子ども達も手作りの華やかな山車に興味津々。山車を町へ探しにいく親子も。残念ながら、山車を引く当日に雨が降ってしまい、山車を引くことができませんでしたが、歴史あるお祭りのにぎわいをいっぱい感じることができました。お祭りに誘って下さった登米町の皆さま、本当にありがとうございました。

（文：菅邊）

夏と言えば…キャンプです！お母さん、お父さんや友達と過ごす森の中の時間は、大切な宝物になるはず。手のひらに太陽の家の子ども達も家族皆でキャンプへ行って来ました。場所は、お隣、栗原市の栗駒山。その山の中にあるくりこま高原自然学校でキャンプを行いました。森探検に川遊び、夜空を見ながらドラム缶風呂、お外で皆でお歌…。

子ども達は自然をいっぱい味わって、はち切れんばかりの笑顔です。

ステキな思い出がいっぱいできました。大人になっても覚えていてくれたら嬉しいですね。

（文：菅邊）

小さな旅
手のひらに太陽の家から、こんにちは
～利用者の方々より～

今年も大変お世話になりました。二回目ということもあり、第二の我が家のように心地良く過ごさせていただきました。キレイな川で魚とり、子どもと一緒に親の私まで楽しみました。福島もとてもステキな所です。一日も早く、何も気にせず自然の中で思いっきり遊べる地に戻りますように。スタッフの皆さんをはじめ、太陽の家が大好きです。ありがとうございました。また、太陽の家に「ただいまー！！」と帰って来ますね。（福島市　三十代女性）

一週間お大変お世話になりました。我が子の目が久しぶりにキラキラ輝いて、色んな経験をさせていただいてありがとうございました。ボランティアやスタッフの方々も大変気さくで、たくさん遊んで頂きました。子どもも私も大変リフレッシュできました。また福島に帰ってもがんばります。（郡山市　四十代女性）

この夏いろいろなボランティアの方々が私達手のひらに太陽の家の活動に参加して下さいました。この手のひらを後に帰られた方々からこんなコメントを頂きました。

「ボランティアという形で滞在させていただいて、私は沢山の事を感じ学び人の痛み福島の方々の苦しみ悲しみ感じました。まだまだ現在進行形で放射能と戦い子どもを育てなければいけない、生活しなければいけない・・・でも福島を捨てることもできない福島を愛しているそんな姿を利用者の方々から感じ取らせていただきました。微力ではありますが、自分に出来ることはこれからも協力し福島の方を応援していきたいと思っております。そしてこの手のひらに来て元気になって帰られていく方々から、私もパワー貰いました。ありがとうございます。本当に良い夏を過ごさせて頂きました。」

（H大学　2年生）

＊１０月の予定＊

＊１０月の花は『キンモクセイ（金木犀）』
＊花言葉は「謙虚・初恋」。樹皮が動物のサイの肌に似ていることが、漢字名に犀（サイ）の字が付く由来だそうです。

イベント名	日時	内容
お料理教室	未定	決まり次第、詳細をHPでお知らせいたします。
森のようちえん	未定	決まり次第、詳細をHPでお知らせいたします。月に１度開催の森のようちえん。登米の自然の中を親子でのびのび遊びます。

支援団体の紹介

日頃のご支援ご協力、誠にありがとうございます。

●桜設計集団●

「ここちよい木造建築の設計」と「木造建築の防火・構造の技術開発」をする技術者設計集団（Team）です。手のひらに太陽の家の構造計算にご協力下さいました。

●仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク（東北ヘルプ）「いのり」●

食品放射能計測プロジェクト「いのり」は、「東北ヘルプ」と「いわきキリスト教連合 震災復興支援ネットワーク」との共同事業として始まりました。計測所を用いて、不安の中を生きる人々に伴い、共に絶望に抗して立ちたいという祈りを込めて、運営されています。手のひらに太陽の家の食品検査にご協力をいただいています。

●有限会社三河防災●

愛知県新城市にある防災会社です。手のひらに太陽の家の火災報知器、消火器などを提供して下さいました。

『手のひら応援グッス。販売中！』

手のひら応援グッスの販売中です！クリアファイル、ハガキ、石けんをスタッフ、利用者さん、地元の方々と協力してデザインし、制作しています。（※石けん、ハガキ、シールは製作中です。）手のひらに太陽の家の活動が継続されることを多くの利用者の方々が望んでいます。みなさま、ご支援・ご協力よろしくお願いいたします。

→詳細は手のひらに太陽の家までお問い合わせ下さい。「☎0220-23-9755・メール：info@taiyounoie.org」

手のひらに太陽の家基金 ～ご支援のお願い～

手のひらに太陽の家では東日本大震災により生活が困難になってしまった家族、特に放射線量の高い地域での生活を強いられている子どもたちを支援します。今も自然の中で存分に遊ぶことも出来ず、心身に大きなストレスを抱えている子どもたちがたくさんいるのが現実です。

平成24年7月21日の開所から、のべ183組3012名のご家族に手のひらに太陽の家をご利用いただきました。（平成25 年9月23日） 今後、継続して活動を行っていく為には、皆さんのご支援が必要です。1人でも多くの子どもたちを笑顔にするために、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【銀行名】 七十七銀行（シチジュウシチギンコウ） 築館（ツキダテ）支店 店コード700
【口座番号】 普通預金 5411882
【口座名義】 手のひらに太陽の家太陽の家基金
理事長 佐々木豊志（ササキトヨシ）

手のひらに太陽の家公式サイトよりクレジットカードでご寄付いただける【オンライン寄付】や、毎月継続してご支援いただける【マンスリーサポーター】もあります。

詳しくはHPまで米「手のひらに太陽の家」で検索！